「○○大学における研究データ管理」に関するアンケート

○○大学 部署名

日付

---------ここから、アンケート文書------------

* 研究データと研究データ管理
	+ このアンケートにおいて研究データとは、「デジタル資料」「計測データ」「試験データ」「メディアコンテンツ」「プログラム」など、研究の実施や結果として収集・生成された「デジタル情報」をいいます。
	+ 「学術機関による研究データ管理」とは、（研究者個人ではなく）大学などが主体となって、研究データを保管・共有・公開する環境を整備し、その利用を促進することをいいます。
	+ 学術機関による研究データの管理の主な目的として以下が挙げられます。
		1. オープンサイエンスの推進（研究データを研究者が相互に利活用することにより、研究の効率がアップします）。
		2. 研究公正の推進（論文で公表された研究成果の根拠データを機関として保管することにより、必要の際にデータを開示しやすくなります）。
* 学術機関による研究データ管理を取り巻く現状
	+ 欧米の研究資金配分では、「研究データ管理が整っていること」を申請の要件とする動きが進んでいます。
	+ 国際学術誌では、論文に記載された研究データを参照できることを掲載の条件とするケースが増えています。
	+ 国内では、「学術機関における研究データの管理・利活用の促進」が科学技術政策として掲げられています（内閣府統合イノベーション戦略(2018年6月)など）。
	+ 国内の研究助成機関のいくつかにおいて、研究データ管理計画の提出が義務付けられてるようになっています。この動きは今後、科学研究費補助金を含む多くの研究助成プログラムに広がる可能性があります。
* 本学における研究データ管理　（各大学の事情に応じ、修正のこと）
	+ 〔部署名〕では、附属図書館、学術研究・産学官連携推進本部など関連する部局との協力のもと、研究データ管理サービスの運用に向け、準備を進めています。今後の運用の参考にしたく、教員・研究者の皆様からのご協力をお願いする次第です。
* アンケート内容、回答結果の取扱いについて
	+ 本アンケートの原案は大学ICT推進協議会(AXIES)研究データマネジメント(RDM)部会(<https://axies.jp/>)が、国立情報学研究所オープンサイエンス基盤センター (<https://rcos.nii.ac.jp/>) の協力を得て作成しました。質問中[AXIES]と書かれている項目は、その原案の内容になります。これに、大学独自の調査項目を付加しています。
	+ アンケート結果の内、AXIESによる質問項目の回答はAXIES-RDM部会と協力し、他研究研究機関との横断的分析に利用することがあります。
* 回答者属性　（1-3は、各大学の判断による。4-5は必須）
	+ 1. 所属（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）
		2. 名前（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）
		3. メールアドレス（　　　　　　　　　　　　　　　　　　）
		4. [AXIES] 職位 [a.教授, b.准教授/講師, c.助教/助手, d.研究員(ポスドク,学振PD等), e.博士後期課程院生, f.博士前期課程院生, g.学部生, h.教育/研究補助, g.その他]
		5. [AXIES] 分野 [a.文学, b.法学, c.経済学, d.その他の人文・社会科学, e.理学, f.工学, g.農学, h.医学･歯学･薬学, i.その他保健, j.家政学, k.教育学, l.その他]

（※ 総務省統計局「平成３０年科学技術研究調査」の分野分類を利用）

* アンケート項目
	+ 1. [AXIES] 学術機関による研究データ管理について、上で述べたような国内外の動向を知っていましたか？ [a.はい, b.いいえ]
		2. [AXIES] ○○大学の研究データ保存についての規程（規定名）で、「研究資料等の保存期間は論文等の発表後10年間」と定められていることを知っていますか？ [a.はい, b.いいえ]
		3. [AXIES] 収集・作成した研究データをどのように保管していますか？(複数選択可)
			1. 個人が使用するパソコンやディスクなどに保管
			2. 研究室などの研究組織が管理するサーバやストレージなどに保管
			3. 大学や部局が管理するストレージなどに保管
			4. 他機関や商用サービスによる学外クラウドに保管
			5. その他 （具体的に）
		4. [AXIES] 収集・作成した研究データのバックアップを定期的にとっていますか？[a.はい, b.いいえ]
		5. [AXIES] 過去10年以内に公表した論文（共著の論文を含みます）について、当該論文の根拠となるデータはすべて保管しており、研究公正上の問題が生じたときにも容易にアクセスできますか？ [a.はい, b.いいえ]

（注）本質問は、大学においてのインフラ整備の必要性を把握するためにしているため、「いいえ」と回答してもペナルティはありません。

* + 1. [AXIES] 研究データ管理のための環境が本学で整備された場合、その環境で保管したい研究データはありますか？ [a.はい, b.いいえ]
			- * 「はい」の場合

[AXIES] 保管したい研究データの規模はどの程度ですか？

100GB未満

100GB以上～1TB未満

1TB以上～10TB未満

10TB以上～1PB未満

1PB以上

[AXIES] データのタイプをご記入ください。（複数選択可）

テキスト

数値データ

マルチメディア（画像、音声、動画）

データベース（DBシステム含む）

ソースコード、解析ツール、実験手順や装置図面

データタイプが複合的なファイル

その他 （　　　　　　　　　　　　※複数記入可）

* + 1. [AXIES]これまでに収集・作成した研究データのうち、現在まで公開していないものの、大学が整備する環境があれば、公開可能な研究データはありますか？ [はい,いいえ]
			- * 「はい」の場合

[AXIES] 公開可能な研究データの規模はどの程度ですか？

100GB未満

100GB以上～1TB未満

1TB以上～10TB未満

10TB以上～1PB未満

1PB以上

[AXIES] データのタイプをご記入ください（複数選択可）。

テキスト

数値データ

マルチメディア（画像、音声、動画）

データベース（DBシステム含む）

ソースコード、解析ツール、実験手順や装置図面

データタイプが複合的なファイル

その他 （　　　　　　　　　　　　※複数記入可）

[AXIES] 差し支えなければ、公開可能なデータの内容を記述下さい。

 　　　　　 ※複数記入可

* + 1. [AXIES] これまでに収集・作成した研究データを既に公開または共有していますか？当てはまるものをすべて選んでください。
			1. 公開している
			2. 分野のコミュニティで共有・公開している
			3. 共同研究者と共有している
			4. 公開を準備している
			5. 公開したいが、個人での公開は困難
			6. 公開していない
			7. その他（具体的に）
		2. [AXIES] （個人や研究室等による管理ではなく、）大学組織が整備した環境で研究データを管理する場合、何に期待しますか。最も当てはまるものを１つ選んでください。
			1. 研究データのバックアップが定期的に実施される
			2. 異動・退職後も大学で研究データが保管される
			3. 研究者間で研究データを共有しやすくなる
			4. 研究データのバージョン管理が容易になる
			5. その他 （具体的に）
		3. [AXIES] ご自身が収集・生成した研究データを積極的に公開する場合、何に期待しますか？最も当てはまるものを１つ選んでください
			1. 公開した研究データが他の論文から引用される
			2. 研究データを公開することが大学や部局による個人評価につながる
			3. 異なる用途で利用されることで、研究データに新たな価値が付け加わる
			4. 同一の研究データを使用する研究コミュニティが大きくなる
			5. 論文投稿のために研究データ公開が必要である。
			6. その他 （具体的に）
		4. 本学における研究データ管理についてご意見があればご記入ください。
		（自由記述）

---------ここまで、アンケート文書------------